

令和2年度・事業所による自己評価結果

事業所：ハッピーハート 事業：放課後等デイサービス 回答数：6

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	自分が工夫している点 自分の課題や改善する点	課題又は改善目標
環境・体制整備	1 活動空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせ、安全性が配慮された空間となっているか。	6			・静かに過ごすエリア、動きまわられるエリアに分け、気持ちよく過ごせる工夫をしている。	静かに過ごせる場所をより工夫し確保していきたい。また、今後も清潔保持に努めるとともに、感染予防にも注意を図っていきたい。
	2 職員の配置数は適正であるか。	5	1			人員基準を遵守するとともに、個別の支援を適切に行える人員を今後も確保したい。
	3 子どもや保護者への支援や対応に困った時、相談できる体制が整っているか。	6			・すぐに管理者等が対応してくれるので必ず相談する。	
	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、職員は参画しているか。	6			・個々で振り返り、改善を意識し職員間で情報共有する時間を設けている。	日ごろから情報共有、振り返りの時間を設け、改善に繋げていきたい。
業務改善	5 前年度の保護者向けアンケートや、面談による保護者の意向等を把握し業務改善にいかしているか。	6			・保護者の求めていることも組み込み、子どもの将来につなげられるように支援している。	保護者の方からいただいた意向を活かし、今後も支援に反映していきたい。
	6 接遇（言葉使い・挨拶等）、身だしなみを意識して業務に就いているか。	6			・客観的に見て大丈夫か意識している。	当たり前のことを客観的にみながら継続的に行っていきたい。
	7 職員の資質の向上を行うために、組織として研修の機会を確保しているが、意欲的に参加しているか。	5		1	・まだまだ知らないことばかりなので楽しんで参加している。 ・パート勤務の為参加はしていないが研修内容を聞いている。	研修に参加するだけでなく、支援に活かし、質の向上に繋げていきたい。
適切な支援の提供	8 面談等を適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、計画を作成していると思われるか。	5	1		・個人的には分析しているつもりだが、もっと客観的な意見を取り入れていきたい。	
	9 個別支援計画を周知し、子どもと保護者のニーズや課題を理解しているか。	6			・見返し読むようにし、送迎時に何か変化等ないか、家での様子やハッピーでの様子を話すようにしている。	
	10 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて計画を作成しているか。また、指導員は計画を意識し、支援や活動内容の意図を理解し支援しているか。	6			・意識し作成をしているが実際に行った際、うまくいかない事の方が多い。 ・集団活動で見えた課題を個別に移行したり、その逆もしている。 ・集団活動時、個々の特性を考えて計画を立て、実践の時の様子を把握するように心がけている。	個々の支援目標をより共有し、活動等を計画していきたい。また、実施前後の話し合いを通して、職員間で改善を図ってきたい。
	11 事業所全体で、子どもへの共通理解を持って支援にあたるよう努めているか。	6			・毎日朝礼で一人一人の様子を話したり、必要時は支援方法を話し合い、共通理解している。	今後も話し合いの場を日々設けるとともに、より実践的な支援方法も共有していきたい。
	12 活動プログラムはチームで立案を行っているか。	2	4		・活動案を話し合ったり、シミュレーションをして共有するようになっている。 ・他職員と相談するが、ねらうところをしっかりと伝えることで全員が理解している。	活動を立案する中で、職員間で意見を出し合い、意義のある活動を立案して行きたい。 また、活動を行う中で、集団の目的や個々の目的を各職員が把握して支援に臨めるようにしたい。
適切な支援の提供	13 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			・目標を軸とし活動内容を変えることで変化を持たせるようにする。 ・固定化しないよう情報収集に努めるが、利用児が楽しんで参加できるように考えている。	今後も活動が固定化しないようにするとともに、楽しみを大切に立案していきたい。
	14 支援を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）を意識して行っているか。	6			・CとAの部分を意識するようになりたい。 ・目標、目的をしっかり立てることを重視して行っている。	今後も個々の支援において日ごろからPDCAを実践していきたい。
	15 平日、長期休暇等に応じて、活動内容を設定し、支援しているか。	6			・長期休暇時には普段体験できないことを設定できるようにしたい。	
	16 支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	6			・事前にシミュレーションをして、どんな動きになるか確認するようにしている。	打ち合わせを通して、個別の支援を意識し、職員間で連携した支援を行いたい。
	17 支援終了後には、職員間で話し合いをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			・必要時に必要な時間を使って振り返りを行っている。	
	18 支援内容や状況等を正しく記録に残し、支援の検証・改善につなげているか。	6			・記録を書く際、様子の変化等を確認するため、以前の記録を見返すようにする。	記録を比較、検討材料として活用していきたい。
関係機関や保護者との連携	19 相談支援事業所のモニタリングや、支援会議等に、子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか。	6				
	20 児童発達支援センターや発達障害者支援センター（JOIN）等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3	2	1	・管理者等から情報を教えてもらうことで自分のものにできるようにしたい。	
	21 以前まで利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、または学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		1	・学校とは送迎時等に情報共有できているが、保育所等のことはわからない。	繋がる支援を意識し、個々の特性を共有し、支援を活かしていきたい。
	22 学校や障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2			
	23 保育園や学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6				
	24 保育所や認定こども園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか。			6	・感染予防の為機会を設けていない。	

	25	日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい、発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			・面談や送迎時、連絡帳などで伝え合っている。	課題以外にも、強みや楽しめたことをより共有していきたい。
	26	支援の内容、利用者負担等について、質問があった際、誠意ある対応、丁寧な説明を行っているか。	6				
保護者への説明責任等	27	個別支援計画は、支援の内容の説明を行い、保護者から同意を得ているか。	5	1			支援目的を共有し、ご家族と協力して支援を進めていきたい。
	28	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5	1		・何かあった時には職員で時間をかけて話し合い、よりよい支援、対応ができるよう努めている。	
	29	子どもや保護者からの相談・申入れがあった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	5	1		・子どもからの相談には、しっかり話を聞いて誠実に対応するようにしている。	相談に迅速に対応するとともに、日頃から相談しやすい環境作りを心がけていきたい。
	30	定期的にお便り等を発行し、活動概要や行事予定等を子どもや保護者に対して発信しているか。	6				
	31	個人情報に十分注意しているか。	6				
	32	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために、伝わりやすいよう配慮をしているか。	6			・子どもに伝わる表現や伝え方を意識して意思疎通を図っている。	
	33	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		・招待できない分、窓の見える所に作品を展示している。 ・感染予防の為、交流はないが挨拶は欠かさない。	可能な限り交流の機会を設けていきたい。
非常時等の対応	34	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。また、定期的に情報を家庭と共有し周知しているか。	5	1		・薬や発作の知識が少ないので学ばなければならない。課題だと思っている。	定期的に状況を確認する中で、服薬についても学びの機会を設けていきたい。(効果、副作用、摂取量等)
	35	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。また、定期的に情報を家庭と共有し周知しているか。	5	1			
	36	緊急時対応、防犯、感染症対応のマニュアルを策定し、職員に周知しているか。	6				
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			・毎月実施する避難訓練の際に最善策を話し合いシミュレーションしている。	日頃から、対応方法を念頭に置き災害時、迅速に対応できるようにしていきたい。
	38	虐待を防止するため、虐待チェックアンケートや、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			・3か月に1度チェックシートに記入し提出している。また、その日のかかわりが適切であったかを振り返るようにしている。	セルフチェックを継続するとともに、定期的に話し合いの場を設けていきたい。
	39	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で個別支援計画に記載しているか。	4	2		・管理者が記載している。身体拘束を行うことがないよう支援する。	
	40	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	5	1		・気になった際は記入するが、定期的に見るようにはしていない。	

ハッピーハート

日ごろから職員間で情報共有、検討の場を設け、個々に合わせた個別支援を意識し、今後も個々に寄り添った支援を行っていただければと思います。
また、支援の中で、職員の「気づき」を深めながら、情報共有をより密に行い、日頃の変化・特性に合わせた支援を行っていただけるようにしていきたいと思っています。

集団活動においては、集団の中でこそ身に付けられる目的を設定し、楽しみを持ち参加していただけるように創意工夫を今後も行い進めていきます。
活動から興味の幅を広げ、趣味などの楽しみに繋げたり、友達と楽しみを共有する中で、協力する体験や関わり方を身に付け、将来に繋がる支援を行っていただければと思います。

ご家族の方々からいただける情報など、様々な面でご協力をいただけることを活かし、今後も支援するとともに、日頃から情報共有を図りやすい環境作りを心がけていきます。

支援の中で必要な知識については、職員間で研修の機会を設けたり、情報の周知を職員間でお互いに今後も行っていきます。
また、得た知識を実際の支援に活かし、振り返りを重ねながら支援の質の向上に繋げていただければと思います。
今後も、ご家族並びに学校などの関係機関にご協力をいただきながら、個々に合わせた支援を行っていただければと思います。